

灯 (あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年6月15日(木) 第6号

文責：校長 森下 隆司

玉之浦米 田植え

苗の生育により、予定をしていた日に実施できなかった玉之浦米の田植えでしたが、天気の推移を見ながら、予備日として設定していた6月9日(金)の午前中を使って行いました。旧平成小学校の学校行事から受け継がれてきた田植えですが、これまで収穫のたびに引き継いできた種もみを塩水選によって選り分けることからスタートし、5・6年生が総合的な学習の時間を中心に活用しながら、大事に苗を育ててきました。お借りしている小川地区の田んぼに全校児童生徒が集まり、お世話をいただいている角田さんをはじめ地域の方々、保護者の方々、そして民生委員の方々にも御協力をいただき、無事に田んぼ全体に苗を植えることができました。

初めて田植えをする児童もおり、田植え開始時はなかなか息が合わずスムーズに田植えができない様子も見られましたが、さすがたまんなっ子。コツをつかむとどんどん手つきが変わり、植えるスピードも、植えられた苗もきれいに揃っていきました。小学生にとってはちょっときつい作業であったようですが、頼りになる中学生は最後の仕上げまでやり遂げてくれました。いつも感じることですが、中学生の姿が小学生のお手本となり、玉之浦小中学校を支え、成長させてくれていると思います。中総体陸上大会前で疲れを残してしまうことになりましたが、中学生のおかげで今年も秋にはおいしい餅米が収穫できそうです。



たまんなっ子じまん

5月22日の長崎新聞「ジュニア俳壇」に、佳作として選ばれた5名の作品です。国語の山上京子先生を中心としたご指導により、新聞への掲載が続いています。今月掲載された作品については、またあらためて紹介します。

「廃校の窓から見える桜の雨」 中山穂乃香 「菜種梅雨新芽に命を宿す雨」 出口清悟
 「思い出は桜の下の秘密基地」 塙 優斗 「凧あげて友と見あげる春の空」 小林 紬
 「日本晴れ心がドキドキ春が来た」 緒方希美